

# 第132回あわら市議会定例会一般質問通告一覧

令和8年6月1日

(通 告 順)

〈6月11日 1日目〉

## 1 見澤 勇三 議員【一問一答】

### ① 発達障がいの子どもたちへの支援と「5歳児健診」について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 保護者からの相談窓口の体制について
- ・ 専門職によるフォローアップ体制について
- ・ 保護者への丁寧な説明や段階的な支援の取組について
- ・ 児童発達支援・放課後デイサービス事業所の現状と利用状況について
- ・ 学校生活における支援体制の現状と課題について
- ・ 「5歳児健診」の実施に向けた導入について

---

## 2 青柳 篤始 議員【一問一答】

### ① 地域福祉と地域機能の維持について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 人口減少、高齢化に伴う地域機能低下への認識と今後の課題について
- ・ 地域に残る支え合い文化やご近所付き合いを活かした地域福祉の考え方について
- ・ 民生委員、自治会、地域ボランティア等による地域福祉活動の現状と担い手不足への対応について
- ・ 福祉事業所との情報共有および地域課題への連携強化について
- ・ 通所支援や介護予防後の地域参加・地域活動への移行支援について
- ・ 事業所が持つ知識や経験を活用した地域サロン支援等の可能性について
- ・ 小規模で使いやすい地域支え合い支援制度の考え方について

---

## 3 堀田 あけみ 議員【一問一答】

### ① 学校施設の維持管理の徹底について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 学校施設の維持管理費について
- ・ 長寿命化計画の実施状況について
- ・ 特定建築物としての点検について
- ・ 維持管理と将来展望について

### ② 障がい者福祉について

(答弁を求める者 市長)

- ・ 委託事業相談事業所について
- ・ 障がい児支援について

#### 4 野沢 裕希 議員【一問一答】

##### ① 教育環境を活かした関係人口創出と地域戦略について

(答弁を求める者 市長、教育長)

- ・本市は、少人数学校によるきめ細かな教育、地域とのつながり、ふるさと教育といった教育環境の強みを、現在どのように認識しているのか。
  - ・こうした教育環境の価値を、子育て世代への魅力発信だけでなく、地域との継続的な関わりや関係人口創出につながる地域資源として活用していく考えはあるのか。
  - ・他自治体の事例や国の制度も踏まえ、教育環境を活かした短期的な教育交流やモデル的な受入れ、先進事例の調査研究を行う考えはあるのか。
  - ・市長は、本市の教育環境を、子育て世代への魅力発信だけでなく、地域戦略及び関係人口創出の観点から、今後どのように活かしていく考えか。
- 

#### 5 家上 雅之 議員【分割質問分割答弁】

##### ① あわら市小学校通学におけるスクールバスの導入について

(答弁を求める者 市長)

- ・あわら市内の小学校における徒歩通学区域を含めたスクールバス導入の考えはないのか。

##### ② あわら市内の不法投棄対策について

(答弁を求める者 市長)

- ・あわら市が不法投棄ごみの回収処分にかかる行政コストや処分方法・回収量はどれくらいか。
  - ・あわら市の道路等への不法投棄対策について、どのような取り組みを行っているのか。
- 

#### 6 中嶋 瑞希 議員【一問一答】

##### ① 教育現場における生成 AI の校務活用と教育データ利活用の基盤整備について

(答弁を求める者 教育長)

- ・生成 AI パイロット校の取組における目的、対象業務、成果指標について
  - ・生成 AI パイロット校の取組のロードマップと、市内各校への展開について
  - ・生成 AI パイロット校の取組を支える教育委員会・学校の体制について。
  - ・形成的評価に資する教育データ基盤・ダッシュボードの整備について
-

## <6月12日 2日目>

### 7 中垣内 えり香 議員【分割質問分割答弁】

#### ① 水田活用の直接支払交付金の見直しと中山間地域・地域農業を守るための市の支援策について

(答弁を求める者 市長)

- ・「5年水張りルール」の実質撤廃と、移行期間における「連作障害回避の取組」に関する本市の柔軟な裁量と農家への周知状況について
- ・2027年度からの「収量連動型」新制度が、本市の中山間地域および環境配慮型農業に与える影響の認識について
- ・国のルールから地元の農家を守るための「産地交付金」の拡充と市独自の救済措置について

#### ② 地域食料安全保障の観点から、米の備蓄と食糧危機を想定した地域自給体制について

(答弁を求める者 市長)

- ・昨年の米不足の教訓、および原油・ナフサ不足等の資源危機を想定した、本市の食料安全保障に対する危機感について
- ・本市における現在のお米の備蓄現状と、長期的な食料危機に対する実効性について
- ・外部資源に依存しない「地域自給計画」および「米の備蓄・流通体制（あわら版セーフティネット）」の策定について

---

### 8 南 良一 議員【一問一答】

#### ① 部活動地域移行（地域展開）の持続可能な運営設計について

(答弁を求める者 教育長)

- ・あわらトリムクラブ「中学校地域クラブ活動」の運営・管理状況について
- ・部活動が地域移行後に10年先も持続可能な体制になりうるための視点について
- ・「あわら市型・持続可能モデル」のために高校や社会体育、文化活動さらに地域人材との連携について

#### ② 放課後児童クラブ（子どもクラブ）の持続可能な運営と「放課後の質」の向上について

(答弁を求める者 市長)

- ・芦原子どもクラブの委託後の検証と持続可能な運営について
- ・「預かり」から「学び・体験・地域交流」への発展について
- ・学童支援員の待遇改善と人材確保について

## 9 島田 俊哉 議員【一問一答】

### ① ふるさと住民登録制度の活用について （答弁を求める者 市長）

- ・人口減少社会を前提として、国が地方創生2.0の一環として創設した「ふるさと住民登録制度」について、本市の第3次総合振興計画に掲げる人口減少対策、関係人口の拡大、担い手確保、交流の活性化を具体化する施策として、どのように活用していくのか。

併せて、事業に取り組む場合には、あわら温泉来訪者、ふるさと納税寄附者、地域イベントや農業体験の参加者など、主たるターゲットの考え方、ベーシック登録からプレミアム登録への導線、目標年度や段階的な目標設定、登録データの政策活用の在り方をどのように考えるのか。

更に、制度に取り組まない場合のリスク、市民が他自治体で得た知見の還元、福井県との連携の中での本市独自施策の必要性、民間事業者やふるさと住民登録コーディネーターとの連携、並びに6月補正予算に計上された「ちょうどよい住みかげん あわら市」体感プロジェクトとの接続などについて、市の所見を伺う。

---

## 10 関山 耕人 議員【一問一答】

### ① 県水受水契約の二部料金制への見直しについて （答弁を求める者 市長）

- ・基本料金について
- ・従量料金について